

つみきのくらし

NO.32

食のたのしみ



日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

こどもたちが種を購入して育てた野菜たちが収穫の時期を迎えました。日に日に大きくなる実を観察して「どうやって食べようか」「もう食べられるんじゃない？」と食への関心も沸いてきています。今回は「食」への興味からこどもたちがどのような反応を見せているのかをお伝えします。



春、野菜の苗をふかふかの土に優しく植えました



興味・関心は調理方法にまで向きました。包丁でトントン切る様子や容姿が変わっていくキュウリを真剣に見ています



ドキドキしたけどじょうずにできたよ！

・ 僕らの暮らし
・ (いごこち)

野菜の収穫です。
トゲトゲを痛がったり、引っ張って採ったりする経験から、もっと良い採り方を模索していきます

こども園つみきの教育・保育目標として大事にしていることの一つに【いごこち】があります。“僕らの暮らし”のなかで大切にしたいこと『その人らしさ』『食』『自然との関わり』です。

のびのびとした時間のなかで自分たちの好きな環境を見つけ、いごこちの良い時間を過ごしてほしい。『食』への興味は好みもタイミングも人それぞれです。年間を通して、食べることが楽しみになる『食』へのきっかけづくりや、自然とのふれあいから感じた自らの経験を大切にしていきます。



おいしいね！

みんなで食べるとおいしいかも…？



収穫してすぐ調理したものをいただきました。どの子ももったいなさそうに大事に味わって食べています。特別な味付けをしたわけじゃないけれど、「すっごくおいしい！」と子どもたちには特別感があるようです。

食べる楽しみはたくさんの人と味わいたい！支援センターに遊びに来た親子も「おいしいね」と楽しんでくれました



ちょっと食べてみようかな

